

会 議 録

会議の名称	第1回 本庄市公共施設等マネジメント推進審議会
開催日時	令和4年6月30日(木) 午前・午後10時00分から 午前・午後11時55分まで
開催場所	本庄市役所 現業棟2階 職員厚生室
出席者	審議会：小松委員、織茂委員、松浦委員、山田委員、山崎委員、 吉田委員、堀口委員、田中委員、江原委員、 五十嵐委員、逸見委員、飯野委員、高橋委員、林委員 事務局：【企画財政部】内田部長 【企画課】橋本課長、鈴木課長補佐、荒井主任 【教育総務課】笠原参事兼課長、新井副参事 コンサル：東日本総合計画株式会社 喜渡、大山
欠席者	審議会：栗田委員
議題 (次第)	1 開会 2 委嘱状交付 3 会長・副会長選出 4 諮問 5 議題 ① 本庄市公共施設等マネジメント推進審議会の運営方法 (案)について ② 本市の公共施設の現状について ③ 公共施設に関する市民アンケートの実施について ④ 「市立小・中学校適正規模及び適正配置の基本的な考え方」 の作成に伴う学校部会の設置について 6 その他 7 閉会
配付資料	・本庄市公共施設等マネジメント推進審議会 委員名簿 ・席次表 ・第1回本庄市公共施設等マネジメント推進審議会 次第 ・【資料1】諮問書の写し ・【資料2】審議会の運営方法(案)について ・【資料3】本庄市公共施設等マネジメント推進審議会条例 ・【資料4】本庄市公共施設等マネジメント推進審議会規則 ・【資料5】本庄市附属機関等傍聴規則 ・【資料6】議題説明資料 ・【資料7】公共施設に関する市民アンケートの実施について ・【資料8】「市立小・中学校適正規模及び適正配置の基本的な考え方」 の作成に伴う学校部会の設置について

主 管 課	企画財政部企画課
-------	----------

会 議 の 経 過	
発 言 者	発言内容・決定事項等
事務局 (企画課長)	<p>本日はお忙しい中、「第1回 本庄市公共施設等マネジメント推進審議会」にご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。私は進行を務めさせていただきます、企画財政部企画課長の橋本と申します。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>新型コロナウイルス感染症に関する対策といたしまして、入室時の検温等にご協力いただき、誠にありがとうございました。室内の換気のため、一部の窓を開放させていただいておりますので、あらかじめご了承ください。また、会議中に体調が優れない場合は、職員までお声がけいただければと思います。</p> <p>それでは、会議に先立ちまして、報告と配布資料の確認をさせていただきます。</p> <p>本庄市公共施設等マネジメント推進審議会規則第2条に基づき、本会議は公開といたします。同規則第3条の規定により、本会議の開催について市ホームページで公表し、傍聴人の定員については、本日が審議会設置後、初めての会議となり、会長が未決定であることから、会場の大きさと新型コロナウイルス感染症対策を図る上で許容可能な定員ということで、事務局が判断した定員数5名としてご案内したところ、1名の申し込みがございました。なお、本日につきましては、非公開事項を有する議題はありませんので、傍聴人につきましては手続を行い、入室していただいております。</p> <p>なお、会議録作成のため、事務局にて本会議を録音させていただきます。あらかじめご了承ください。</p> <p>次に、配布資料の確認をさせていただきます。本日、机の上に配布させていただいた資料として、「本庄市公共施設等マネジメント推進審議会 委員名簿」、本日の会議の「席次表」、「第1回本庄市公共施設等マネジメント推進審議会 次第」となります。また、事前に送付させていただいた資料として「【資料1】諮問書の写し」、「【資料2】審議会の運営方法（案）について」、「【資料3】本庄市公共施設等マネジメント推進審議会条例」、「【資料4】本庄市公共施設等マネジメント推進審議会規則」、「【資料5】本庄市附属機関等傍聴規則」、「【資料6】議題説明資料」、「【資料7】公共施設に関する市民アンケートの実施につ</p>

	<p>いて」、「【資料8】『市立小・中学校適正規模及び適正配置の基本的な考え方』の作成に伴う学校部会の設置について」となります。資料等の不足はございませんでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">(なし)</p> <p>ご確認ありがとうございます。 報告や配布資料の確認につきましては、以上でございます。 それでは、これより会議を開催させていただきます。次第2、本庄市公共施設等マネジメント推進審議会委員の「委嘱状交付」となります。本来であれば市長から委嘱状を交付させていただくところでございますが、本日、市長が公務の都合により出席が叶わないため、企画財政部長より交付させていただきます。 事務局からお一人ずつお名前を申し上げますので、その場でお立ちいただき、委嘱状の交付をお受けいただきますよう、お願い申し上げます。それでは、お手元の名簿の順にお呼びさせていただきます。</p> <p style="text-align: center;">(委嘱状交付)</p> <p>ありがとうございました。 次に進めさせていただく前に、本日は1回目の会議となりますので、ここで委員の皆様から一言、自己紹介をいただきたいと思っております。</p> <p style="text-align: center;">(委員 自己紹介)</p> <p>ありがとうございました。 続きまして、事務局及び計画見直しに当たりましてコンサルタント業務を委託する東日本総合計画株式会社の担当者につきましても、自己紹介させていただきます。</p> <p style="text-align: center;">(事務局・コンサル 自己紹介)</p> <p>次に、次第3「会長・副会長選出」に移らせていただきます。会長、副会長が選出されるまでの間、企画財政部長が進行を務めさせていただきます。よろしくお願いたします。</p>
事務局	それでは、次第3になります。会長・副会長が選出されるまでし

(企画財政部長)	<p>ばらく私が進行を務めさせていただきますので、よろしく願いいたします。</p> <p>資料3「本庄市公共施設等マネジメント推進審議会条例」をご覧ください。同条例第6条になりますが、「会長は委員の互選により定める」と規定されております。皆様にご意見等をお願いいたしますが、いかがでしょうか。</p>
江原委員	<p>現在の計画策定時にもアドバイザーとしてご参加いただいております。小松委員をご推薦申し上げます。</p>
事務局 (企画財政部長)	<p>ただいま、江原委員より小松委員をご推薦するご意見をいただきましたが、いかがでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>それでは、小松委員に会長就任をお願いさせていただいてよろしいでしょうか。</p>
小松委員	<p>恐れ入りますが、よろしく願いいたします。</p>
事務局 (企画財政部長)	<p>それでは小松委員の会長就任について、ご異議がなければ、皆様、拍手にてご承認をいただきたいと思っております。</p> <p>(全委員より拍手)</p> <p>ありがとうございます。それでは、本審議会の会長につきましては、小松委員に決定させていただきます。</p> <p>次に、副会長選出に移ります。副会長につきましては、同じく同条例第6条にて「副会長は会長が指名する。」と規定されております。会長よりご推薦いただける方はいらっしゃいますでしょうか。</p>
小松会長	<p>これまでの様々な事情があるかと思っておりますので、その経緯をよくご存じの方がいらっしゃれば、その方にお願いしたいと思います。事務局からご提案はありますか。</p>
事務局 (企画財政部長)	<p>事務局いかがですか。</p>
事務局 (企画課長)	<p>現計画の策定時にご協力いただいた委員としましては、江原委員が本審議会にご参加いただいております。事務局としては、江原委員の副会長就任をご提案いたします。</p>
小松会長	<p>私からもお願いできればと思っております。どうぞよろしく願いいたします。</p>
事務局 (企画財政部長)	<p>江原委員、いかがでしょうか。</p>

江原委員	分かりました。
事務局 (企画財政部長)	<p>それでは江原委員の副会長就任について、ご異議がなければ、皆様方から拍手にてご承認をいただきたいと思います。</p> <p>(全委員より拍手)</p> <p>ありがとうございます。それでは、副会長につきましては江原委員に決定させていただきます。</p> <p>会長、副会長が決まりましたので、私はこれで進行の任を降りさせていただきます。ありがとうございました。</p>
事務局 (企画課長)	<p>それでは、小松会長、江原副会長、前方の会長席、副会長席にご移動をお願いいたします。</p> <p>ここで小松会長、江原副会長よりご挨拶をいただきたいと思います。はじめに、小松会長よりお願いいたします。</p>
小松会長	<p>改めましてよろしくをお願いいたします。</p> <p>本庄市に限らず、日本全国で公共施設をどうするか大問題になってきつつあります。そもそもの問題の発端というのは、人口が減少していく中で、財政が厳しくなっていくだろうというところから始まっています。昨今、世界的に状況が激変しておりまして、世界的に金利が上がっている中で日本は金利を抑えていて円安が進むとか、国の借金が2千兆円を超えたとか超えないだとか伝えられてくる中で、10年、20年先に起こるだろうと言われていた話がおそらく5年先くらいに起きるのではないかと私は思っていますが、こういった状況の中で公共施設をどうしていくのかというのは喫緊の問題だと思っております。</p> <p>緊張感を持って務めていきたいと思います。皆様のご協力をよろしくをお願いいたします。</p>
事務局 (企画課長)	ありがとうございました。続きまして、江原副会長、お願いします。
江原副会長	副会長に就任しました児玉商工会会長の江原貞治でございます。小松会長をしっかりと補佐していきたいと存じます。よろしくをお願いいたします。
事務局 (企画課長)	<p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、次第4「諮問」となりますが、本庄市公共施設等マネジメント推進審議会条例第3条の規定に基づきまして、審議会に対して諮問させていただきます。</p> <p>なお、本日の諮問書につきましては、皆様のお手元の資料1「諮問書の写し」を含めまして、会長が未決定であったことから、会長名が空欄となっております。後日、会長名を記載し、市長印を押印させていただいたものに改めさせていただきます。また、諮問につきましても企画財政部長よりお渡しさせていただきます。</p>

	<p>(企画財政部長から会長へ諮問書の手交)</p> <p>続きまして、次第5「議題」に移らせていただきます。 議題の進行につきましては、本庄市公共施設等マネジメント推進審議会条例第7条第2項の規定により、会長が議長となってしまうこととなっております。これからの議事の進行につきましては、小松会長にお願いしたいと思います。 小松会長、よろしくお願いいたします。</p>
議長	<p>それでは、早速、議題に入らせていただきます。 最初に、議題①「本庄市公共施設等マネジメント推進審議会の運営方法（案）について」、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局 (荒井主任)	<p>(資料に基づき説明)</p>
議長	<p>ただいまの事務局からの説明に対しまして、ご質問、ご意見ございますか。</p> <p>(質問・意見なし)</p> <p>ご意見等がなければ、本議題については承認ということでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>それでは、次に議題②「本市の公共施設の現状について」、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局 (荒井主任)	<p>(資料に基づき説明)</p>
議長	<p>内容がたくさんあるので簡単に理解はできないと思いますけれども、今のご説明の中で何か疑問等はございますか。相当分かりやすく資料を作っていただいておりますが、一度聞いただけでは理解しがたい部分もおそらく多々あるかとは思っていますので、何か質問があればよろしくお願いします。</p>
堀口委員	<p>各施設のところで、例えば16ページの公民館でしたら、赤字で「現計画上、15年以内に更新・移転予定の施設」となっておりますが、その他の施設につきましても「適正配置や適正規模の検討が必要」となっております。具体的に廃止や統合をするなどの文言が入っていません。例えば、公民館であればあくまで廃止は考えておらず、更新もしくは移転と文字どおりに考えてよろしいのでし</p>

	ようか。
事務局 (企画課長)	16ページ、公民館のところに赤字で「現計画上、15年以内に更新・移転予定の施設」と書かせていただいておりますが、今後は先ほどご説明させていただいたとおり、人口減少等の社会状況の変化の中で、本庄市の公共施設はどうあるべきなのか、48ページにある32施設を中心に2か年かけて検討していきます。その中で委員ご指摘のとおり、廃止、複合化、統合といった施設も出てくると考えられます。
議長	先ほど38ページにて「各公民館の1キロメートル範囲内の人口を基に平準化した場合」とありましたが、具体的にどういった操作をされたのですか。
事務局 (荒井主任)	平準化につきまして、本庄市には施設周辺の人口が大きく異なる地域が存在することから、人口を平均化させて計算したものとなっております。今回は各公民館の1キロメートル範囲内の人口を北泉公民館の1キロメートル範囲内の人口を基準とした場合に、利用人口がどうなるかというところを示したものとなっております。
議長	例えば、人口1,000人当たり何人くらい利用しているかというような内容を示した資料ということですか。
事務局 (荒井主任)	そのとおりです。
議長	資料を拝見している中で、これから財政的にかなり大変になっていくというところは見えています。44ページに「25年間で約223.3億円が必要」と書かれておりますが、市として支出可能なお金はどのくらいになりますか。要するに223.3億円用意できるのであればそのとおり実施していただければ良いと思いますが、大抵の場合、そんなにお金がないと思いますので、そういった場合どうするのかという話になります。 例えば、25年で200億円かかるけれど、年間4億円しか支出出来ない場合は費用を半分にしなければならないので、公共施設をどうしていくのかといった話につながるわけです。それが50億円しか出資できないとなればとても厳しくなり、200億円なら何とか支出できるとなれば、少し頑張れば何とかなると思います。そういった目途をちゃんとつけなければなりません。さらに、「約1.1～2.3倍の財源が必要」とあるように、場合によっては400億円を超える費用が必要ということになるかもしれません。なので、お金の見通しを荒っぽくても結構ですので推測しておいていただいた方が、どのくらい大変な状況にあるのかが分かる

	<p>と思います。余裕があるようであれば、おそらく市民の方々はスポーツ施設は残して欲しい等の意見があって、そういった意見を聞いてあげられるかと思いますがけれども、逆に4分の1くらいのお金しかないのであれば、とてもそういった意見は聞いてあげられないといった話にもなりかねないので、その辺の見通しがあれば、出していただいた方が議論しやすいと思っております。</p> <p>それと更新費用だけでなく、もう少し細かく各施設にどれくらいお金がかかっているかの分析や、建替え・改修についても、〇〇小学校を10年後に改修するにはいくらかかるなどのシミュレーションがあったほうが議論はしやすいと思います。その辺のシミュレーションを出すことは可能ですか。</p>
事務局 (企画課長)	<p>223.3億円のうち、どれくらい捻出できるのかについては、施設整備基金ということで概ね50億円の積み立てを行っているところでございます。ただし、この試算時から人件費等の高騰により約1.1～2.3倍になるという予測もあります。また、今後、この50億円をどこまで積み立てられるかというところもございます。年々切り崩しという可能性もございますので、はっきりとはどのくらい用意ができるというところは申し上げられないのですが、現状では施設整備基金として50億円を用意している状況です。</p>
議長	<p>その50億円は何年かけて貯めたのですか。</p>
事務局 (企画課長)	<p>概ね11年です。</p>
議長	<p>11年だとして、年間約5億円。この5億円がこれからも準備できるかどうかという話が出てきます。そのような点を財政担当と協議をしていただいて、概算で結構なのでどのくらい用意できそうなのかというものを見通しとして持つておかないと作業が進まなくなる可能性もあります。財政に余裕があれば甘くできますし、そのような状況でなければ厳しくせざるを得ないですし、そういったところのさじ加減が難しくなります。高齢者が増えることなども勘案して、施設に支出できる財政状況の資料を作成していただければと思います。</p> <p>それともう1つ、インフラの話ですが、ここには書いていませんが、財政面からしたらそれも負担に入ってきますので、それも踏まえて公共施設に使えるお金の見通しをつけておかないといけません。そういった資料を、すぐには難しいかもしれませんが、この審議会が終わる頃にはある程度分かっている状況にしておいてください。</p>

事務局 (企画課長)	分かりました。
議長	他に何かご質問、ご意見はございますか。
山田委員	公共施設が廃止になった場合は、建物の解体やその後の利用ということも考えていかないといけません。もし仮に解体となれば解体費用もかかることとなりますが、そのようなことについても検討していくということによろしいですか。
事務局 (荒井主任)	<p>跡地に関しましては、基本的には跡地を売却していくのか、もしくは、跡地を利用して施設等をそこに建てるのか、そういったところも今回の見直しで考えていければと考えております。</p> <p>また、解体に当たりましては、もちろん解体費も必要となりますので、そういった解体費の試算も含めた上で検討、見直しを図っていく予定です。</p>
議長	<p>付け加えさせていただくと、施設を廃止にした後にどうするか、これはいろいろなケースが考えられるので、ケースバイケースで対応していかなければならないと思います。一般論として、解体して更地にして売却するというのを考えられているようであれば、売却したお金を当てにできるかという点と難しいと思いますので、むしろ、先ほどお話ししました市の予算の中でどれだけ対応できるかということを考えると、解体費くらいは見ておかないといけないというつもりで試算をされると良いかと思います。</p> <p>個別の施設をどうするかという議論を始めてしまうと、おそらくいくら時間があっても足りないのと、もう1つ、文部科学省で学校施設をどうするかという指針のようなものを出しておりまして、教育委員会にも届いていると思います。今後、学校施設の統廃合も検討していくことになるかと思いますが、その際に、単純に学校施設を統合するというよりは、他の施設との複合化についても考える必要があると記載されています。今回の対象施設には公民館も含まれていますが、例えば、公民館の機能を学校に入れてしまうといった話もあり得るかと思います。そういったことになると、教育委員会の中だけで検討しているとそういう話が中々出てこないかと思います。逆に言えば、他部署の方にも入っていただいて、どうするか議論していただく必要があります。それは議題④の中で話があると思いますが、将来的にはそういう話もしていかないと施設の数には減らせません。先ほどお金の話を申し上げましたが、お金がない中で施設を維持するのは無理な話であり、あえて維持しようとするならば、ボロボロのまま使い続けることとなります。それができないと考えると、施設の数や予算に合わせて減らすという</p>

	<p>ことを大前提にしない限りは、なかなか計画を作っても上手く進まないだろうと考えております。</p> <p>この場で議論するのは細かい話というよりは大きな方向性としてどうしていくのか、例えば、小学校と中学校は統合して数を減らすのかというあたりになるかと思えます。子供の人口が減少する中でどうするかという話と、もう1つは、先生の働き方の問題が昨近非常にクローズアップされておりまして、クラブ活動の話がメインですが、学校の先生はたくさんのことをやらなければならないで、仕事として抱え込んでおられる状況です。その中に、施設の管理も含まれておりますが、施設の管理は先生から解放してあげたほうが良いのではないかと私は考えています。例えば、公民館と複合化するのであれば、公民館の管理をする人が学校の管理も一元化するという形式にすれば、学校の先生の負担は軽くなるので、そういったことも含めてこれから施設のあり方を検討していく必要があります。そういった視点も、これからは求められるということをお伝えしたいと思えます。</p> <p>他に何かご質問、ご意見はございますか。</p>
織茂委員	<p>各公共施設等の耐用年数については分かりませんが、昨近、震災が増えております。各施設の耐震基準についての状況は把握していますか。</p>
事務局 (荒井主任)	<p>一部の施設を除いて耐震性は確認済みとなっております。この一部の施設というのが、個別に建築されている公民館等の施設であり、これらの施設につきましては、耐震性が未確認であることを踏まえた上での見直しが必要となってまいります。もちろん、これらの施設については長寿命化の対象となっている施設はございませんので、例えば、公民館をそのままその場所で存続するといった場合も前提は建替えとなりますので、耐震性を確保したうえで施設を管理・運営していくものとなります。</p>
議長	<p>耐震とバリアフリーは当たり前になりつつあるので、そういったものがない施設は対策をするか廃止してしまうかのどちらかになるかと思えます。</p> <p>将来的な話として、カーボンニュートラル、二酸化炭素削減といった話も出てきていますが、それを公共施設に反映していくということもあるかと思えます。新築の建物については、省エネをしないと住宅でも言われるようになるかと思えますが、そうすると既存の施設でも省エネをしなければならないという話も出てくる可能性があります。ますます古い施設をどうするかという問題が大きくなってくるとともに、これから厳しくなるということをお頭</p>

	<p>に入れながら考えていかなければならないかと思います。 他にご質問がなければ次の議題に移ってよろしいでしょうか。</p> <p>(質問・意見なし)</p> <p>現状かなり厳しいということが分かりましたが、もう少しお金の話をシビアに検討を進めていければ良いと思いますので、少し調べていただいて、分かる範囲で資料を作成していただければと思います。</p> <p>それでは続きまして、議題③「公共施設に関する市民アンケートの実施について」、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局 (荒井主任)	(資料に基づき説明)
議長	<p>まずは、アンケートを実施するということについて、何かご質問やご意見があればお願いします。例えば、アンケートはிரらない、他の方法で調べる等、いろいろとご意見があるかもしれないと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>(質問・意見なし)</p> <p>アンケートそのものを実施するということについては、ご意見なしということでよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>3, 500人というのは人口に対して何パーセントになりますか。本庄市の人口はどれくらいですか。</p>
事務局 (荒井主任)	<p>人口が78,000人程度となりますので、5パーセント程度になります。また、18歳以上になりますと総数が減りますので、おそらく5パーセントを少し超えるくらいになるかと思われます。</p>
議長	<p>私が過去に実施した時は、2割から3割から回答されたら御の字でした。今回は市内全域に満遍なく配布する予定ですか。例えば、大きく分けると本庄地域と児玉地域となりますが、例えば人口比によって地域ごとに配布数を変えるということはするのですか。</p>
事務局 (荒井主任)	<p>各学区に人口比で区分して無作為抽出し、配布する予定です。</p>
議長	<p>学区はいくつありますか。</p>

事務局 (荒井主任)	小学校は12学区です。
議長	そうすると各学区への配布数は、3,500件を12で割った200件から300件くらいですか。
事務局 (荒井主任)	比率によりますが、平均としてはその程度になります。
議長	そうすると、少しアンケートの配布数が少ないと思います。例えば、1地区300件配布して、回答率が2割としたら60件程度しかなく、集計時に100件は欲しいと感じます。催促すれば多少は回収率が上がるので、例えば、回答が返ってきていない人に連絡して答えてくださいということを何回かやれば多少は回答率が良くなるかとは思いますが、最低100件くらい回収できるように少し見直していただいた方が良いと思います。もし、ウェブ上で回答可能であれば、全てがウェブ回答にはなりません、費用的にはかからないので、その分、配布数を増やすということも考えられます。アンケートはどこかに委託されるのですか。
事務局 (荒井主任)	送付、集計等をコンサルに委託いたします。
議長	<p>過去に実施した方法を参考までにお話しいたしますと、市役所は個人情報を持っているのでその必要はないですが、私たちは個人情報を入手できないので、ポスティングでアンケートを配布したことがあります。それでほしい1割くらいの回収率でしたので、後のフォローを何回か実施すれば3割くらいの回答率が期待できるかと思えます。その辺は専門家と相談しながらですが、少なくとも1つの地域に100件の回答数は欲しいと個人的には思います。そうでないと分析しても結果が信用できるものか難しいところがあります。あるいは、もっと地域を広くとって、その中で分析をするというやり方もあります。そのあたりの有効性は専門家と協議された方が良いと思います。数を増やすのみであれば、郵送料が増えるだけですから1万件くらい配布しても良いのではないかと思います。</p> <p>また、内容については、大きく見ると、自分自身のことについて回答する設問、公共施設を使っているかどうかを問う設問、満足度に関する設問、施設に対する考え方を問う設問となっています。公共施設を考える時に「利益を受ける人」と「負担している人」の2通りがあります。例えば、公民館をたびたび利用されている方は使うことに対してメリットがあるわけですが、逆に使わない人からしてみれば、その施設の維持費を税金で負担しているわけで、そう</p>

	<p>すると使っていない人はどう思っているか知ることが必要になります。公共施設の話をする時に、どうしても使っている人の意見を聞くことにはなりますが、そうすると、廃止は反対というのが当たり前となるので、それだけでは廃止は考えられないという結論になってしまいます。使っていない人からしたら無駄だと思う人もいるでしょうし、そういう意見が強くなってくれば廃止になる可能性もありますので、そのあたりのバランスが大事だと思います。そのような意味で、使っていない施設に対してどう思うかという意見も、本来であれば聞くべきだと私は考えています。少し前にアンケートを実施した際には、使っている人は残してほしいという中で、いらぬという方が結構いるという印象を受けました。税金で負担している以上は、使っていない人の声も聴くべきだと思いますので、その辺の工夫を少し入れていただくと良いのかなと思います。まだ、案の段階ですので、お願いします。</p> <p>また、しつこい設問はやめた方が良いかと思えます。答えやすいようにしていただいた方が回答率も上がると思えますので、そういった工夫も是非していただければと思います。現時点でも、そこまでタイトなアンケートではなさそうなので、答えやすいとは思っています。若い人はスマートフォン等を使って答えられるので、その辺は回答率が上がるポイントだと思います。</p> <p>私ばかり話して申し訳ありません。他に何かご意見等があればお願いします。</p>
山田委員	<p>前回、平成26年に調査されているかと思いますが、その時にアンケート結果から計画に反映されたことはありましたか。</p>
事務局 (企画課長)	<p>アンケート結果を踏まえて、現計画内の方針等を作成しております。</p>
議長	<p>アンケートの周知は実施しますか。</p>
事務局 (荒井主任)	<p>先ほどの説明の補足となりますが、計画内にもアンケート結果を記載させていただいております。抜粋してご説明させていただきますと、例えば、「公共施設の今後のあり方」という点で、「今後維持していくことが困難となった場合にどういった形で対応していくべきか」という設問に対しましては、「緊急時の避難所としての利用が見込まれる公共施設は維持する」といったご意見が最も多く、「公共施設の統廃合や複合化を行うことで、施設数を減らす」といったご意見も次いで多い結果が確認できております。また、統合や削減を検討する公共施設についての設問では、特に多かった回答といたしまして、「利用頻度や稼働率が低い施設」から検討していくということで回答をいただいております。</p> <p>また、議長からご質問がありました今後のアンケートの周知に</p>

	<p>ついてですが、現時点で、計画内への結果概要の記載を予定しておりますが、その他の周知方法につきましても審議会の検討の中で、例えば、広報に掲載したほうが良い、もしくは、市ホームページで掲載したほうが良いなどの意見が多いようであれば、財政的な制約はありますが、そういった内容についても検討していければと思います。</p>
議長	<p>アンケートの対象者は無作為抽出との話があったので、住民基本台帳から抽出し、その方に郵送で依頼を出すということだと思います。それも1つの方法だと思いますが、例えば、広報にQRコードを載せてそこから回答してもらうことも可能だと思います。依頼した人と自発的に回答された人で回答の傾向が異なる可能性があり、要するに関心を持っておられる方はそれなりの回答をされるので、それをまとめることが統計的に正しいかという話にもなりますが、区別はできるので、区別した方が良いなら区別すれば良いし、一緒にして良いのであれば一緒にしてしまえば回答数も増えて良いので、広報でアンケート調査を周知することも良いのではないかと思います。</p> <p>他に何かご質問やご意見はありますか。</p>
堀口委員	<p>参考資料「公共施設利用並びに今後のあり方に関するアンケート調査」の2ページ、対象施設の一覧表にある「本庄駅南口複合施設」という名称では分かりづらい人もいると思いますので、説明があると良いと思います。</p>
事務局 (企画課長)	<p>分かりやすいよう表記に改めます。</p>
議長	<p>具体的なアンケート用紙が出てこないと言えない部分はありますが、なるべく分かりやすい記載となるようお願いしたいと思います。ちなみに発送はいつごろを予定していますか。</p>
事務局 (荒井主任)	<p>12月から翌年1月を予定しております。</p>
議長	<p>まだ時間はありますね。そういった状況であれば、まだまだ必要に応じてご検討いただくことが可能です。アンケートについては、検討していただいて最終案を見せていただければと思いますので、よろしくをお願いします。</p> <p>それでは最後に、議題④「『市立小・中学校適正規模及び適正配置の基本的な考え方』の作成に伴う学校部会の設置について」、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局 (荒井主任)	<p>(資料に基づき説明)</p>
議長	<p>小・中学校については資料にも書いてありますが、公共施設の中</p>

	<p>で一番面積が大きいこともあって、これを外して議論するわけにはいかないということで、十分に準備していただきたいと思っております。</p> <p>ただいまの事務局からの説明に対しまして、ご意見、ご質問がございましたら、お願いします。</p>
五十嵐委員	<p>学校部会の設置については賛成です。</p> <p>小・中学校のあり方という点で、資料6の63ページに児童・生徒数がありますけれど、人口減少と同じように小・中学校の将来の人数の減少のシミュレーションをしているのであれば、その人数を示した方が分かりやすいのではないかと思います。</p>
事務局 (教育総務課副参事)	<p>国立社会保障・人口問題研究所のデータに基づいた将来の児童・生徒数の推移を示した上で、皆様にご協議いただけるよう準備を進めてまいります。</p>
議長	<p>文部科学省が出した「学校施設の整備・管理に係る部局横断的な実行計画の解説書」では、将来の児童・生徒数の推計を出すように書かれています。5年後くらいは生まれた子供がそのまま学校に行くのでしっかりと把握ができますが、更に先の10年後くらいになると、これから生まれてくる子供を予測しなければならなくなるので、そこまで捉えていないという話も聞いたことがあります。可能であればそこまで推計していただいて、50年後くらいまでの人口推移を出すように書いてあったと思いますが、そこはコンサルと相談していただいて、出来れば、最低10年くらい先まで見通していただきたいと思っております。少人数の学校となると、先生方の負担が大きくなるなどのいろいろなことがあるので、規模をある程度保たないと学校というのはなかなか機能が働かないし、そういった面も是非説明していただければと思っております。</p> <p>これらは部会でご協議される話だと思いますが、部会設置については了承いただけますでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">(異議なし)</p> <p>部会員の候補となっている皆様、よろしいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">(異議なし)</p> <p>それでは事務局は部会の設置を進めてください。</p> <p>これで本日の議題は終了となります。進行を事務局にお返しします。</p>

事務局 (企画課長)	<p>慎重なご審議、大変ありがとうございました。</p> <p>また、議長を務めていただきました小松会長にお礼申し上げます。ありがとうございました。</p> <p>続きまして、次第6「その他」でございますが、今後のスケジュールについて事務局からご連絡がございます。</p>
事務局 (鈴木課長補佐)	<p>それでは、事務局より3点、ご連絡させていただきます。</p> <p>まず、1点目といたしまして、本日の会議の会議録の案につきまして、作成が完了次第、委員の皆様へ郵送又はメールにて送付させていただきます。お手数ですが、お手元に届きましたら内容をご確認いただき、記載内容に修正等ございましたら、事務局までご連絡いただきますようお願い申し上げます。</p> <p>次に、2点目といたしまして、本日、設置が決定されました部会につきましては、現時点で7月22日（金）午前中の開催を予定しております。後日、改めて部会の委員の皆様へ正式な通知及び資料を送付いたしますので、よろしくようお願い申し上げます。</p> <p>最後に、3点目といたしまして、次回の審議会につきましては、年度末の開催を予定しているところですが、今後の取組の進捗状況に応じて11月頃に臨時開催する可能性がございます。次回の開催日、議題内容等が決定次第、事務局より委員の皆様へご連絡いたしますので、ご理解のほどお願い申し上げます。</p> <p>事務局からの連絡は以上です。</p>
事務局 (企画課長)	<p>それでは、次第7「閉会」にあたりまして、企画財政部長より、ご挨拶を申し上げます。</p>
事務局 (企画財政部長)	<p>本日はお忙しい中、第1回本庄市公共施設等マネジメント推進審議会にご参加いただき、また、慎重な審議をいただき、誠にありがとうございました。</p> <p>今後、本審議会におかれまして、委員の皆様のご意見をいただきながら、本市の今後の公共施設マネジメントに反映してまいりたいと考えております。今後の審議会のスケジュール等について申し上げますが、委員の皆様におかれましては、審議会の開催日以外にもご意見等ございましたら、是非、事務局までご意見いただければ幸いです。よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。本日はありがとうございました。</p>
事務局 (企画課長)	<p>以上をもちまして、第1回本庄市公共施設等マネジメント推進審議会を閉会いたします。本日は、誠にありがとうございました。</p>